

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 3 年 11 月 22 日

公表: 令和 4 年 1 月 12 日

事業所名 ぶどうのプール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		個別対応できるスペースを設置・対応している。	
	2	職員の配置数は適切である	2	3	コンプライアンス委員会を開催し職員配置している。	増員するため常時求人している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5		玄関・トイレ前に段差がある。今後の検討課題。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		施設会議や日々の申し送りにて振り返り、改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		アンケート結果に基づき協議し改善できるよう検討している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		外部(社労士)の方にも全体会議に参加頂いている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		研修委員会を設置し年間を通して研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		サービス計画書や保護者との会話で課題を計画書に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		独自の記録を活用して行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		施設会議や日々の申し送りにて行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		毎月のプログラムを作成、保護者にも配布している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		毎月のプログラムを作成実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの状況・障害程度等により計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		日々の申し送りにて情報共有に努め確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		申し送りを行い情報共有に努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		デイ誌・経過記録を活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		施設会議等にて見直しの必要性について話し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		取り組みの計画を協議検討して支援に努めている。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		主に責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		適宜関係機関との連携に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5		医療的ケア児童の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		ケースによっては実施することもあるが、保護者との情報収集が主になっている。今後の検討課題。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	利用経過・利用中の経過内容等の情報共有は努めている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		コロナの影響もあり今年も研修は実施できていない状況。コロナが落ち着いてできる状況になれば検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		地域交流を望まない保護者の方もみえるため、今後方法を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	定期的に参加に努めている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時やLINE等のツールも活用しながら伝えている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		今後の検討課題。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時にご説明させて頂いている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		送迎時やLINE等のツールも活用しながら情報共有している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	コロナ前は年に1回開催していた。	コロナの影響もあり今年も開催予定はないが、今後コロナが落ち着けば検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	苦情連絡先を入口に掲示とともに契約時に伝え発生したら責任者が対応に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		定期的に広報を発行し発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報は決められた場所で保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		様々なツールを用いて伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		地域住民を招待してはいないが、情報はホームページにて公開している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		施設内に掲示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止委員会を毎月開催し研修も行い対応に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		保護者への事前説明をして個別支援計画書へ記載し承諾を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	契約時にアンケートを撰って対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		現場に用紙を設置いつでも記入できるようにしている。	